

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信



ロータリー：
変化をもたらす



| 国際ロータリー 第2570地区 (埼玉西北部) | **vol.13**

Rotary International District 2570

September 2018



トロント国際大会ガバナーズナイト

2017-2018 年度

特別号

contents

細井ガバナーメッセージ	p2
一年をふり返って／諮問委員会	p3
一年をふり返って／ガバナー補佐	p6
一年をふり返って／地区研修リーダー	p7
一年をふり返って／地区委員長・部門委員長	p8
年次度地区合同役員会議報告	p11
2017-2018年度決算報告	p12





アーチ・克蘭フ・ソサエティ・ギャラリーにて

国際ロータリー第 2570 地区
2017-2018年度 ガバナー
細井 保雄

1 年を振り返って

初秋の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。細井ガバナー年度がガバナー補佐、地区幹事と副幹事、地区委員会の委員長並びに委員の皆様と 51 クラブ会長幹事をはじめとする会員の皆様のご支援・ご協力で無事終了しました。誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

私は、平成元年にロータリーに入会し 30 年目となりましたが、私の人生・私の事業はロータリーと共にあり

ました。所属クラブにも地区にも手本となるようなロータリアンが多数在籍しております。ロータリーの職業奉仕理念 (He profits most who serves best) も私どもの会社のコンセプトに相似しております。私達ロータリアンは、事業人として地域社会のことを思いやり、世界平和を希求しなければなりません。私にとってロータリーは人生の道場であり、私の人生はロータリーと一体であると言えます。このガバナーを努めた 1 年はロータリーについてより多く学ぶことが出来ました。ロータリーのサービス「奉仕」を「他人に思いやりを持って、他人のために役に立つ」と、より認識できました。またロータリーは「親睦」と「奉仕」と言われますが、それをより実感しました。51 クラブのガバナー公式訪問では各クラブの皆様が温かく歓迎してくださり、冒頭には私の作詞作曲した「ロータリーを他人（ひと）に告げる歌」を斉唱していただきました。地区の行事でもこの歌を斉唱してくださいました。多くのロータリアンとよりフェローシップ（友愛）を深めることも出来ました。

日本に同期のガバナーが 34 名おりますが、他地区ガバナーと交流することによって見識を深め、同じ目的を持って学ぶ朋友となることが出来ました。

私はロータリーや所属クラブ、地区、日本のロータリーに感謝の思いを込めロータリー財団に寄付をして、アーチ・克蘭フ・ソサエティ メンバー（会員）になることが出来ました。2018 年 2 月 4 日、(公財)米山記念奨学会 50 周年記念セミナーが開催されましたが、そこで学んだ米山梅吉翁の言葉があります。「出来るだけ儲けよ。出来るだけ蓄えよ。そして出来るだけ与えよ。」私はこの言葉を私のロータリー運動の指標の一つにしたいと思います。

先般開催した地区大会にはロータリアンの皆様に多数ご参加いただきました。同時開催したロータリーフェスタには一般市民の皆様にも多数参加していただき、公共イメージと認知度の向上を図りました。

おかげさまで、この 1 年間を無事終了することが出来ました。皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念し御礼といたします。ありがとうございました。



パストガバナー 梅沢 定彦（所沢）

細井ガバナー一年間ご奉仕有難うございました。

ここ数年、ロータリーは様々な分野での変革が行われ、それに対応するリーダーとして大変だったと存じます。しかしながら、貴職は、その変換に見事に対応し、ロータリーの目指す「奉仕の理想」をご指導いただき、活性化に尽力し、地区ロータリーの発展と各クラブ会員の資質向上に多大なる功績を

残されました。

一つの例として、地区大会の地域との密着した大会は、大変温かく、ロータリーをエンジョイできました。これも偏にガバナーのお人柄の下、地区ガバナー補佐、幹事、会員の皆様の協力、そしてそれを支えたガバナー所属のクラブの皆様、奥様のお蔭と確信し、本当に素晴らしい年度であったと心からお礼申し上げ、感謝いたします。



パストガバナー 高橋 福八（本庄）

埼玉を代表する実業家、細井保雄氏が「次年度ガバナーに決定」と聞いた時、私は、これからの月信のガバナーメッセージやその演説を楽しみにしてしていた。

まず最初の地区目標が「経営戦略を皆で一緒に実行しよう」であった。これは面白い一年になると直感した。

「RI 会長賞 50% を目指す」とある。これには高い目標に向かって進む気込みを感じ

じた。

自作の「ロータリーを他人に告げる歌」。これこそロータリーを知らない大衆を味方にするためのコマーシャルである。

自分の思想や言葉を通して世間に呼びかけてくれた。その結果1年間とても楽しく、為になった。

ありがとうございました！



パストガバナー 野中 弘之（熊谷東） 個性あふれた細井年度

キャリア豊かな細井ガバナーのリーダーシップと地区役員各位のお力添えで、個性あるよき年度にさせていただけたことに心からの敬意と感謝を申し上げます。

私もガバナーを終えて 10 数年、地区の会合に参加する機会も少なくなりましたが、私なりに感じた細井ガバナーの素晴らしい個性を記してみたいと思います。

1) このところほとんど論じられないロータリーの基本理念「決議 23-34 の声明」を取り上げ、特にシエルドンの職業奉仕の理

念をご自身の職業の繁栄の基本に置いて説かれたことには説得力がありました。

2) その結果として、当地区初のアーチクランフ・ソサイエティー会員となられたことに祝意を表します。

3) 「ロータリーを他人に告げる歌」を全メンバーで歌ったこと。少ない字数でロータリーの全てが込められており恐れ入りました。

地区大会の大盛会、行田ならではの二人の特別公演楽しませていただきました。



パストガバナー 真下 和男（東松山）

細井ガバナー、新井地区幹事ご苦勞様でした。

指名委員長として細井ガバナーを指名できたことを大変誇りに思います。細井年度の大成功の大きな要因は母体である行田さくら RC の団結力と実行力にあります。その熱気はガバナー選出の過程で強く認識する

ことができました。

当地区は今ガバナーの選出に大変な苦勞をしています。クラブのロータリーに対する情熱の低下が原因と思われます。細井ガバナーはご自分の事業も超多忙な中、ロータリーの精神が企業を支える根本と主張されていました。ロータリー活動を熱心にするこ

前ページより

ことはよき仲間を得て自己研鑽に努め、経営成績も向上するとの持論で自ら見本を示し、成果の一部として多額の寄付(アーチC. クランフ・ソサエティ 地区第1号)もされました。

矢澤地区大会実行委員長を中心として準備された市民参加による地区大会がかつて

ない規模で実施出来たのも、日頃の細井ガバナーの念願の見事な開花であり、ロータリーの広報に大きく寄与しました。

私も地区記念誌発行委員長としてお約束通り10年ぶりの地区誌発刊を6月の年度末役員会議に間に合わせることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



パストガバナー 加藤 玄静 (本庄)

地区の救世主と言っても褒めすぎではないでしょう。私の年度ガバナー補佐をされ、その時のリーダーシップは見事でありました。

クラブは異なりますが、クラブを越え支援をと思い地区の重要職であります「職業奉仕部門委員長」、「RLI委員長」、「ロータリーの友地区代表委員」に就任して頂き、素晴らしいロータリアンにと変貌されました。

結果、ガバナー年度の地区大会、公式訪

見事な一年でした

問セミナー開催と「面白くて為になる」ロータリー活動を実践されました。

特筆すべきは、「ロータリーとは」と問われた時に優等生の答えを言おうと戸惑ってしまいましたが、新しいロータリーソングを作詞作曲され、リズムに合わせ明解にロータリーを覚える事に成り、新会員には最良の研修に成りました。今後も当地区で唱和したらと思います。お疲れ様でした。



パストガバナー 立原 雅夫 (川越)

2017・18 細井ガバナー、ご活躍ごろうさまでした。

地区テーマ「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」と目標を掲げ、RCのグローバル化の対応と組織論をR活動のベクトルとして表現しました。そしてR活動の基盤を各Rクラブとし、多様化した現代に地域の独自性を活かし、職業奉仕に経済人としての要素を取り入れ、面白い活動をされたと思います。現在の世界を《New normal》とする世界の大きな変化に、R活動もその対応

「変化をもたらす」

と新しい提言をしていかなければならないと思います。

しかし心残りは、3名のガバナー候補選出のなか、2名の方の指名にとどまった事です。この任務に委員会としては、皆様の人生の付度を原則とし慎重に活動をしました。多くの皆様は、素晴らしい人生とロータリー観をお持ちで、嬉しく思いました。

1年間、細井Gはじめ多くのロータリーメンバーの友情とご協力に感謝申し上げます。



パストガバナー 鈴木 秀憲 (吹上)

戦略計画には、国際ロータリーの戦略計画、地区戦略計画、クラブ戦略計画があります。

国際ロータリーの戦略計画優先項目は、①人道的奉仕の重点化と増加 ②クラブの強化(会員増強) ③公共イメージと認知度の向上 で、夫々にコーディネーターが地区委員会と共に、その推進について各クラブ・各ロータリアンにご協力依頼を訴えているところです。

地区の戦略計画については、地区におけ

「地区運営をスムーズにするために」

る喫緊の課題の抽出とそれへの対策です。

地区の喫緊の課題は「地区の活性化」であり、具体的には①地区事業の見直し ②地区役員の適正な交代 ③地区役員の削減等が必要です。

この事に対する根本的な解消策は、一にも二にも「ガバナーの早期選出」です。当地区では、従来より「ガバナーの選出」については1年若しくは2年の遅れが有ります。

この事については、本年度ガバナー月信

前ページより

4月号に「地区運営をスムーズにするために」と題した小文で発信させて頂きました。再度お目通しを頂き、ご理解とご協力をお願い致します。

各クラブの戦略計画策定は、国際ロータリ

ーの上記優先項目の何れかに毎年一つずつ焦点を置き、その徹底を図られる事をお勧めします。

文末になりましたが、委員会委員各位のご協力に感謝申し上げます。



パストガバナー 坂本 元彦（富士見）

細井ガバナー一年間ご奉仕有難うございました。

ここ数年、ロータリーは様々な分野での変革が行われ、それに対応するリーダーとして大変だったと存じます。しかしながら、貴職は、その変換に見事に対応し、ロータリーの目指す「奉仕の理想」をご指導いただき、活性化に尽力し、地区ロータリーの発展と各クラブ会員の資質向上に多大なる功績を

残されました。

一つの例として、地区大会の地域との密着した大会は、大変温かく、ロータリーをエンジョイできました。これも偏にガバナーのお人柄の下、地区ガバナー補佐、幹事、会員の皆様の協力、そしてそれを支えたガバナー所属のクラブの皆様、奥様のお蔭と確信し、本当に素晴らしい年度であったと心からお礼申し上げ、感謝いたします。



パストガバナー 高柳 育行（本庄）

細井ガバナー、1年間ありがとうございます。心より感謝申し上げます。当地区はこのところガバナー候補者の選出が難しい状況が続いております。細井様にお受けいただいた際も、私のガバナー任期最後の時期であったため忘れることはできません。エレクトとしての1年間はあったものの、必要な準備期間が十分ではなかった中で、ガバナーとしてのリーダーシップに加え企業人と

しての手腕も見事に発揮され、活力のある地区運営をなされました。地区大会での新たな取り組みは、参加者にも思い出深い内容でございました。私個人と致しましても、RI 会長代理のエイドという役目もいただき、大変印象に残っております。アーチクラブ・ソサイエティにもなられ、我が地区にとっても誇りに感じるガバナーとなりました。これらの様々な実績や経験を、地区のため、またロータリアンのために今後ともご尽力いただけるようお願い申し上げます。



パストガバナー 前嶋 修身（熊谷）

この原稿を書きながら思えば、1年前はまだ私はガバナーでした。時の流れは速いような遅いような、そして残念ながら立ち止まってくれません。

細井ガバナーも1年半を振り返ると同じ思いになるのではないのでしょうか。ノミニーの準備期間からガバナーになっての1年半は激流のように毎日が過ぎ去って行きます。私がようやくホッとでき、日常の余裕が出来たのは、ガバナーを終了してから半年後でした。

細井ガバナーご苦労さま

ガバナーを務めるということは決して辛いものではありません。思いもよらない経験がたくさん出来ます。知人友人が増え、国内外の各地へ行く機会も増えます。自分の思いをロータリアンに直接語りかけることも出来ます。ただ、歌の文句ではありませんが「あとからほのぼの思うもの」です。

細井ガバナーは行田さくらクラブの協力のもとに充実した1年半を過ごされたことと思います。ご苦労さまでした。

1年を振り返って

1年を振り返って ガバナー補佐

第1グループガバナー補佐 相原 茂吉 (川越)

ガバナー補佐を拝命し、緊張とプレッシャーで始まった本年度でしたが、振り返ると本当に充実した素晴らしい一年でありました。

補佐訪問の折には、各クラブの会長幹事をはじめ会員の皆様に本当に歓待され、嬉しいやら恥ずかしいやらで、身がすくむほど恐縮したこともあります。IM については会長幹事会で半年以上前から方針を決め、各クラブに誠心誠意協力していたお陰で、大変すばらしい内容のものであったと思います。

一年を通じて、細井ガバナーのロータリーに対する思い入れ、人柄そしてバイタリティーに触れる事が出来たのは、私のこれからの人生にとって本当によい勉強になりました。

た。そして行田さくら RC の方々の一体感と、大成功であった地区大会に集中されたエネルギーには只管敬服させられるばかりでした。

また、本年度を成功に導いた地区役員の方々の功績、ご多忙にも拘わらず、夫々の役割を着々とこなされてきた地区の皆様に対しても尊敬の念でいっぱいでありました。

そして、一年を振り返って、再認識したこと。それは、ロータリーとは、経済的柵がなく、きわめて友好的な環境の中で、若干の規則と秩序に基づきながら、素晴らしい人脈を構築することができる最高の組織であることです。

一年間、補佐を務めたお陰で私は多くのすばらしい友人を得る事が出



来ました。

最後になりますが、トロントの世界大会に、行田さくら RC の方々と日本出発から日本到着まで、ご一緒できたことは、生涯の思い出になることでしょう。

本当にありがとうございました。



第2グループガバナー補佐 下山 定夫 (富士見)

ラブとの親密なコミュニケーションをとるために3～4回の各クラブ訪問と、計8回の会長幹事会を開催いたしました。会長幹事会では、テーマを設け、いくつかの奉仕部門の担当者に卓話をお願いしロータリーへの理解を深めました。

第二グループのクラブの会員数は40名台が2クラブ、30名台が1クラブ、20名台が1クラブ、10名台が2クラブ、10名以下が2クラブという現状です。しかし、会員数が少なくてもクラブ運営は友好的で結束

強固でした。

インターシティーミーティングでは、「公共イメージと認知度の向上」を目指し、一般市民を招待した講演会、「クラブのサポートと強化」を目指し、会員増強のシンポジウムを開催し、最後にグループ内会員がクラブを超えて知り合いを広めるための懇親会を行いました。

第二グループの課題は多く、問題解消とまでは行きませんでしたが、大変勉強になった一年でした。

第二グループガバナー補佐を拝命して以来、細井保雄ガバナーの方針「RIの戦略計画を皆で実行しよう」を実現するために、担当の八ク

第3グループガバナー補佐 木川 一男 (飯能)

細井ガバナーのもと公式訪問、補佐訪問と11クラブ大変お世話になりました。

「R1 戦略計画を皆で一緒に実行しよう!」、細井ガバナーのメッセージでしたが、その思いに少しでもお役に立てたか自信はありませんが、私にとりましてガバナーの人生感・事業感に学ぶ点が多くロータリアンとして、「斯く在りなん」との姿に尊敬と感動を覚えました。

唯、私にとりましてIM開催の前日に「頸椎後縦靱帯骨化症、胸椎黄色靱帯骨化症」二箇所の手術の為出席できず、ガバナー補佐不在になりましたこと、大変申し訳なくお詫び申し上げますと共に実行委員長の中里昌平様には大変お世話になり、ありがとうございました。

会員の皆様方の今後のご発展ご隆盛を願いご挨拶とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



第4グループガバナー補佐 向井 正義 (深谷東)

2017年7月に始動間もなく、ガバナー補佐訪問に続きガバナー訪問と、各委員会セミナーと立て続けのスタートとなりました。

第1回会長幹事会において、11クラブから年度計画書をお預かりいたしましたので、事前準備をして補佐訪問に臨みました。

11の各クラブの皆様の温かい友情に迎えられて、拙い補佐の意向にも快く対応して戴きました。

各クラブ共、実状に合わせた工夫ある運営をしているのに、感銘を受けました。

細井ガバナーの講話はグローバルな見地から、ロータリーを見た内容を分かり易く、人間味のある口調で説かれているのが印象的であり、深い魅力を感じ得ました。

会長幹事会は全6回に渡り開催

致しました。

当初は各クラブの会長・幹事に一問一答形式でやりました。

皆様の悩みや質問にできるだけ答えたいと思ったのですが時間に限りがありますので、焦点を絞った中で進めさせて戴きました。

少しでも、11クラブのお役に立ちたいという一心では、ありましたがはたして、役にたつたのだろうかと振り返っています。

各部門のセミナー、各種行事と目まぐるしく、脳裏を駆け抜けていきました、特に IM は第4グループと深谷東ロータリークラブの傑作でした。

1年を振り返って見ますれば、素晴らしい体験・篤い友情・掛替えない出会い、どれをとっても生涯忘れ得ぬものでした。



この1年間を演出して戴いた細井ガバナーをはじめとする2570地区の皆様に感謝申し上げます。

4人のガバナー補佐の皆様、ありがとうございました。

私を送り出した深谷東ロータリークラブの皆様、事務局、常に寄り添って下さった補佐付のお二人に感謝申し上げます。

1年間、ありがとうございました。



第5グループガバナー補佐 高野 勝良 (加須)

たとき、一瞬答えられなかった」というエピソードから始められ、ロータリーの哲学・理念を話されていました。私はガバナー訪問の露払いとして、一人一人に、“あなたにとってロータリーとは何ですか？”と補佐訪問を通じて、問いかけてきたように思います。それがこの一年を通しての自分のテーマでもあったからです。そしてその答えを見つけました。“照千一隅、一隅を守って千里を照らす人になれ、石渡行田クラブ会長

の年度スローガンです。

ただ、各クラブの会員増強や戦略計画の立案など、当初の計画が空手形になってしまい、ガバナーには誠に申し訳なく思っております。

一方では、多くの行事をこなしてきました。IM、会長・幹事会、フレッシュマン・セミナー、事務局員との懇談会…そして多くの方から多くの友情をいただきました。誠に充実した一年でありました。皆様、本当にありがとうございました。

地区研修リーダー

DISTRICT TRAINER

地区研修委員長 坂本 元彦 (富士見)



細井保雄ガバナー、一年間ご苦勞様でした。

振り返れば、前年度の地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会、地区会員増強セミナー、地区ロータリー財団セミナー等々からのお付き合いで細井保雄ガバナーのロータリーに対する深い思いと情熱と行動力を強く感じ取ることが出来ました。

「ロータリーを他人に告げる歌」の作詞作曲、アーチ・クランフ・ソサイエティへの入会、親切で丁寧で分かり易い熱弁、地区セミナーや奉仕活動の充実、ロータリーと共に歩んだ自身の事業の拡大等を見ればこの事が良く理解できます。ロータリーの今は、世界を変える行動人が求められています。これ等からしても細井保雄ガバナーは、理念の実践を行った真のロータリアンであるでしょう。今後もこの充実したガバナー年度を基にして、PDGとして、クラブ、地区、日本ロータリーのリーダーとして益々活躍されますことを大いにご期待申し上げます。簡単ですが所感といたします。

地区委員長

DISTRICT COMMITTEE

RLI 委員長 田代 充雄 (熊谷西)



ロータリー研修をより充実したものにする為に「RLI方式による研修」があります。すなわち研修及び諸会議に、ファシリテーションの導入です。参加者が自ら考え、発言し、理解を深め、モチベーションを高める。逆に言えば参加者に「いかに語らせるか」、「いかに喋らせるか」です。その為に必要なことはファシリテーター（DL）の育成及びファシリテーター（DL）のスキルの習得です。研修会パートI、II、III及びDL養成コースを通して、受講者の意識は高まってきたと思われます。これからはDLとしてのスキルを磨いていってください。当委員会は年間10回程度と比較的多くの委員会を開催し、委員会メンバーと研修会にDLとして参加して下さる会員約20名とが、研修会をいかに運営するか、DLとしての押さえどころは何か等を話し合いました。議論することで自分の知識が深まり、多くの気づきがありました。今思うと楽しい時間であったと懐かしく思い出します。ご協力頂きました委員会の皆様そしてDLとして参加して頂いた会員の皆様ありがとうございました。

マイロータリー推進特別委員会委員長 五十幡 和彦 (行田さくら)



細井年度において初めてマイロータリー登録をお願いしたのが2017年1月の地区チーム研修セミナーでしたが、その時点での地区内登録者数は185名、登録率11.2%でした。

その後5月に開催した「マイロータリー推進特別セミナー」や、9～10月に各5グループ回って開催した「マイロータリー研修セミナー」、各クラブ例会や会長幹事会を回った「推進キャラバン卓話」を経て、2018年6月末時点では登録者数が463名、登録率28.9%。登録者数で278名、登録率では257%の増加となりました。

ちなみに6月末時点での登録率上位クラブは、1位／新狭山 RC100%、2位／本庄南 RC100%、3位／鶴ヶ島 RC93.3%、4位／行田さくら RC88.2%、5位／吹上 RC66.7%。

登録者数上位クラブは1位／行田さくら RC45名、2位／熊谷 RC39名、3位／川越 RC29名、4位／鶴ヶ島 RC28名、5位／本庄 RC26名です。

これもひとえに各クラブ会長を始めとした会員皆様のご理解とご協力の賜物と、心から感謝しております。この1年間、本当に有難うございました。

部門委員長

COMMITTEE CHAIRMAN

クラブ奉仕部門委員会 水村 雅啓 (入間)



本年度のクラブ奉仕部門委員会は、「会員増強とリーダーの育成」「例会の活性化と出席率の向上」「公共イメージと認知度の向上」を最大のテーマに、細井ガバナーの地区運営方針のもと、クラブの戦略計画立案の支援を進めて活動してまいりました。会員増強では、元気なクラブづくりに向けて増強が達成できるよう、特にクラブ会長さんを対象に研修の場を設けました。公共イメージでは、プレス関係者を招き、各クラブの公共性のある事業の紹介を行うとともに意見交換を交えたフォーラムを開催しました。

委員会活動を通し「クラブ奉仕部門」は、会員数やメディア掲載といった現実的な取組みのほか、「ロータリーとは何か」「魅力あるロータリーづくりとは」という基本的な問題を提起し「戦略計画立案」を進めることで、クラブ・地区の改革にも積極的に関わる委員会であってはならないと強く感じました。

細井ガバナーはじめ、クラブ奉仕部門の委員のメンバーに支えられ、そして何より各クラブの会長、会員の皆様にご理解ご協力いただいたことで一年を終えることができました。皆様に深く感謝を申し上げ、ご報告と致します。ありがとうございました。

職業奉仕部門委員長 武田 哲（深谷東）

細井ガバナーのお考えで、奉仕理念を研鑽する「職業奉仕委員会」と、RIの推奨する職業奉仕の「職業上のスキルを生かした奉仕プロジェクト」を担当する「高校生社会体験活動支援委員会」で、一年間の部門活動をさせて頂きました。

内山委員長の職業奉仕委員会は、8月の「部門セミナー」で、高柳担当諮問委員の紹介により「職業奉仕はロータリーの根幹か？」と本田博己 PDG に講演頂きロータリー理念を研修し、さらに地区5グループ毎に、サービス(奉仕)理念の具体的な意味合いをシェルドンの言葉で理解すべく少人数での「出前セミナー」で研鑽を深めました。

五十嵐委員長の高校生社会体験活動支援委員会は、県の「フレッシュ高校生社会体験活動(自分発見!高校生感動体験)プログラム」事業に協力し、ロータリアン企業での高校生の職業体験の実践の橋渡しを行いました。

部門委員・担当副幹事の皆様、多大の協力を頂き有難うございました。

社会奉仕部門委員長 齋藤栄作（入間）

社会奉仕部門では RI 戦略計画の一つである「公共イメージと認知度の向上」を意識した社会奉仕活動の推進を「地域社会奉仕委員会」「アイバンク委員会」「世界遺産無形文化遺産登録推進委員会」「プライダル委員会」4つの委員会が一丸となって推奨して参りました。

今年度は2017年9月9日（土）埼玉県で初めて日本遺産登録に成功した行田市にて教育センター「みらい」を会場として文化遺産を活かした『まちづくり』シンポジウムを社会奉仕部門セミナーと同時に行田市民の皆様を巻き込みパネルディスカッション形式で開催致しました。埼玉新聞を始めJCOM等の取材もありロータリーの活動が多くの方々の市民の方々にも知れ渡る機会となりました。

日本遺産 (JAPAN Heritage) とは地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語るうえで欠かせない魅力溢れる有形・無形な様々な文化財群を地域が主体となり総合的に整備・活用し、国内だけではなく海外へも戦略的に発信してゆくことにより地域の活性化を図ることを目的としています。例えば地区内の各クラブが日本遺産登録を題材にして社会奉仕活動の展開の一助としていただければ幸いです。1年間大変お世話になりありがとうございました。

国際奉仕部門委員長 梅澤 茂（深谷ノース）

支援委員会の事業では、2017年12月9日から14日までタイ・バンコクのシーロム RC を訪問し、飲料水の浄化装置を支援した学校を現地視察しました。この事業は支援委員会として 2012 年度より支援を実施しています。現地視察はこの事業の支援金が有効的にかつ効果的に使用されているかを確認することでした。結果は適切に使用されていることが参加委員によって確認されました、又、この視察報告会を全クラブにご案内したところ、25 クラブより要請があり各委員に卓話に行っており、支援活動の重要性がクラブ会員の方々に深くご理解を頂いたものと考えております。紙面の都合でミャンマー、フィリピン、ベトナムの国際奉仕活動につきましては次の機会に報告させて頂きます。

交流委員会では今年度 42 期の青年とロータリアンが 12 名オーストラリアから来日し、1 月 21 日から 2 月 2 日まで受入れを行いました。彼等と日本の青年達は親睦と交流と相互理解を育みました。日本チームは 3 月 3 日から出発し、18 日に元気よく帰国しました。今回派遣された青年達も各々が信念をもって異文化を吸収しようとする意気込みや、何かを掴もうとする気迫が感じ取れました。彼らの帰国報告書を読むとしっかりと自分の考え方を伝えられる大人に成長したことが伺えます。私達ロータリアンはこのような青年達に『ロータリーとは何か』を教える良い機会であると思います。次世代を担う青年達に夢と希望を与えるようなロータリーの活動が必要ではありませんか。この一年間素晴らしい奉仕活動が出来ました。これらの奉仕活動にご指導頂いた細井ガバナー、立原 PG、関係者の皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

青少年奉仕部門委員長 宮原 克平 (志木)



細井年度から高校生社会体験活動支援委員会は職業奉仕部門に移動しましたので、当奉仕部門はライラ・アクト・青少年交換の3委員会構成になりました。

青少年奉仕部門の地区外の概況は各委員会とも全国組織化されて毎年、委員長会議が開催されるようになりました。このため、各委員会の委員長には全国会議への出席が必要となり、地区活動のみでは済まなくなりました。特にこの奉仕部門では危機管理委員会との関係もありますのでどうしても全国会議への出席が避けて通れません。

次の各委員の報告です。

ライラ委員会 クロスミーティングの実施(各委員会の生徒の参加)

アクト委員会 インターアクト年次大会の実施 次期指導者研修会をライラに変更

ローターアクト年次大会の実施

青少年交換委員会 細井年度の交換はアメリカ(5G)・イタリア(3G)・インドネシア(2G)・ブラジル(4G)・メキシコ(1G)の5人で派遣生・来日学生とも、全員今年6月から8月にかけて無事帰国しました。また、派遣生は4名でメキシコ・フランス・インドネシア・イタリアへ7月から8月にかけて現地へ出発致しました。

1年間、あつと言うまででしたが、地区内ロータリアン・関係者の皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。ありがとうございました。

ロータリー財団部門委員長 茂木 聡 (本庄)



本年度、多くの地区内ロータリアンの皆さまが、ロータリー財団に対しご理解とご協力をくださったことに、厚く御礼申し上げます。当部門はロータリー財団が推奨する5つの委員会で構成し、委員長をはじめ各委員全員の協力のなか、一体となり活動を行ってまいりました。ポリオプラス委員会は、地区大会会場にてポリオ撲滅の為に募金活動を行いました。資金推進委員会として、当地区は早々と「年次基金寄付・ゼロクラブ」でなくなりました。補助金委員会では、27クラブから地区補助金申請を受け、21のプロジェクトを実施頂きました。さらにグローバル補助金申請をひとつ受けています。奨学学友・平和フェロー委員会は、2名の留学生を派遣し、次年度留学生2名に対しオリエンテーションを行いました。資金管理委員会は、年度末の指定期日に報告書提出を受け内容精査を行いました。最後に、本年度細井保雄ガバナーがアーチ・クランフ・ソサエティになられたことに改めて感謝申し上げます。一年間大変お世話になりました。

ロータリー米山記念奨学部門委員長 島崎 義春 (行田さくら)



多くの皆様にご指導とご協力をいただき米山記念奨学部門委員長を一年間務めさせていただくことができました。心より感謝申し上げます。

当地区では、2017年4月より2018年3月まで、16名の奨学生を受け入れました。カウンセラーの皆様、世話クラブの皆様方には大変お世話になりました。また、10月の米山月間には、多くのクラブより奨学生の卓話依頼をいただき、米山記念奨学事業についてご理解をいただけたと思います。地区事業といたしまして、秩父音頭まつり、研修旅行での米山記念館来訪、クリスマス会、財団設立50周年記念式典など、日本と日本人の素晴らしさを肌で感じてくれたと思います。奨学生はこの経験を活かし、将来、日本と母国との懸け橋となるような活躍を期待しております。奨学生の受け入れは、地区の個人の平均寄付額によって決められます。多くの奨学生を採用し、多くの世話クラブの受け入れが出来ますよう、引き続き会員の皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

1年を振り返って

RID2570 2017-18 年度末 地区役員 合同会議報告

地区幹事 新井啓介 (行田さくら)



6月17日14時より紫雲閣にて、年度末地区役員合同会議が行われ、約130人の地区役員・クラブ会長の出席がありました。細井保雄ガバナーから年度総括があり、続いて坂本元彦研修リーダーの研修報告、ガバナー補佐(相原茂吉、下山定夫、木川一男、向井正義、高野勝良)のグループ報告、各部門委員長(水村雅弘、武田哲、斉藤栄作、梅澤茂、宮原克平、茂木聡、島崎義春)の部門報告、他RLI、My Rotary、地区大会(田代充雄、五十幡和彦、矢澤大和)の3委員長の報告がありました。都合で、代理者での報告もありましたが、参加者共々一年間を顧みでの発表でした。また、細井ガバナーより、一年間の感謝の意を表してその都度、感謝状の贈呈を行いました。委嘱状をお渡しした役員全員に感謝状は、贈呈されますので、お受け取りくださいとのことでした。

そして最後に、茂木正ガバナーエレクトより、今年度を引き継ぎ、次年度への抱負を語って頂きました。会議終了後、約100名が参加して、懇親会が、盛大に開催されました。細井ガバナーの御礼の挨拶後、前嶋直前ガバナーの乾杯に始まり、着座で、テーブルを囲み和やかで楽しい懇親会となり、鈴木副ガバナーの中締め、最後は、参加者全員円陣で「手に手つないで」を歌い、細井保雄年度から茂木正年度への継承を確認いたしました。

最初は、6月30日予定でしたが、諸般の事情で、17日に変更となりましたこと、お詫び申し上げます。トロント国際大会が、6月23～27日で、年度末が、あわただしい一年でした。本当に1年間の皆様のご協力に感謝申し上げます。

収 支 報 告 書

2017年7月1日～2018年6月30日

国際ロータリー第2570地区

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
I 収入の部				
1. 地区分担金	45,966,000	46,163,400	△ 197,400	1637人
2. 雑収入	1,000	117,783	△ 116,783	
3. 前期繰越金		291,863	△ 291,863	
収入総計	45,967,000	46,573,046	△ 606,046	

II 支出の部

1. 外部負担金	予算額	決算額	差額	
① ロータリー連絡費	326,000	327,932	△ 1,932	
② ロータリー文庫運営費	489,000	491,682	△ 2,682	
③ RYSEC維持協力費	326,000	327,500	△ 1,500	
④ 平和奨学生支援金	24,450	24,450	0	
	1,165,450	1,171,564	△ 6,114	
2. 地区管理運営費	予算額	決算額	差額	
① 地区大会運営費	11,410,000	11,410,000	0	
② 地区協議会運営費	1,532,200	1,532,200	0	
③ エレクト活動費	1,500,000	1,500,000	0	
④ 地区事務所運営費	7,335,000	7,792,425	△ 457,425	
⑤ ガバナー月信発行費	4,000,000	4,002,320	△ 2,320	
⑥ 会議費及び資料費	2,500,000	2,923,587	△ 423,587	
⑦ 雑費	200,000	246,354	△ 46,354	
⑧ 予備費	10,000	0	10,000	
	28,487,200	29,406,886	△ 919,686	
3. 地区活動費	予算額	決算額	差額	
① クラブ奉仕部門	500,000	416,695	83,305	
② 職業奉仕部門	400,000	387,561	12,439	
③ 社会奉仕部門	500,000	169,207	330,793	
④ 国際奉仕部門	2,600,000	2,461,266	138,734	
⑤ 青少年奉仕部門	6,200,000	5,674,837	525,163	
⑥ ロータリー財団部門	900,000	804,390	95,610	
⑦ R米山記念奨学部門	450,000	1,104,832	△ 654,832	
⑧ 地区研修委員会	100,000	167,408	△ 67,408	
⑨ 地区戦略計画委員会	50,000	53,292	△ 3,292	
⑩ RLI委員会	330,000	74,377	255,623	
⑪ My Rotary推進特別委員会	150,000	195,818	△ 45,818	
⑫ 危機管理委員会	50,000	0	50,000	
⑬ 地区記念誌委員会	200,000	31,795	168,205	
⑭ RI規定審議会対応費及び繰入金	150,000	157,000	△ 7,000	
⑮ RI会長テーマ推進費	500,000	505,980	△ 5,980	
⑯ 合同役員会議費	1,000,000	815,278	184,722	
⑰ 地区記念誌編纂繰越金	200,000	200,000	0	
⑱ ロータリー希望の風奨学金	1,000,000	1,000,000	0	
⑲ 通信費	700,000	1,039,737	△ 339,737	
⑳ 雑費	200,000	241,480	△ 41,480	
㉑ 予備費	134,350	0	134,350	
	16,314,350	15,500,953	813,397	
支出総計	45,967,000	46,079,403	△ 112,403	

決算額 (収入額) 46,573,046 - (支出額) 46,079,403 = (繰越金) ￥493,643

収支計算書脚注

国際ロータリー第2570地区会計

1 外部分担金	①ロータリー連絡費	100円×会員数(上期)	100円×会員数(下期)
		150円×会員数(上期)	150円×会員数(下期)
	③RJYEC維持協力費	100円×会員数(上期)	100円×会員数(下期)
	④平和奨学生支援金	15円×会員数(1月1日時)	
2 地区管理運営費	①地区大会運営費	7,000円×会員数(予算作成時の1,630人を使用)	
	②地区協議会運営費	940円×会員数(予算作成時の1,630人を使用)	
	③地区事務所運営費	4,500円×会員数(予算作成時の1,630人を使用)	
3 地区活動費	①アクト委員会	440円×会員数(予算作成時の1,630人を使用)	
	①青少年活動費	2000円×会員数(予算作成時の1,630人を使用)	

財産目録

2018年6月30日 2017~18年度末

国際ロータリー第2570地区会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場 所		金額
(流動資産)	普通預金	埼玉りそな銀行	行田支店	493,643
流動資産合計				493,643
資産合計				493,643

特別会計

(単位:円)

口座名	金融機関	口座番号	期首残高	現在残高
地区義援金	埼玉りそな/東松山	5248566	10,397,400	10,280,352
国際奉仕地区支援委員会	埼玉りそな/東松山	5230614	7,442,310	8,028,849
青少年活動費	埼玉りそな/東松山	5283670	1,042,840	1,042,845
VTT・GSE	埼玉りそな/東松山	5283662	3,251,721	3,251,735
危機管理委員会基金	埼玉りそな/東松山	5283688	5,004,557	5,004,578
50周年記念誌発行基金	埼玉りそな/東松山	5283696	4,011,275	0
規定審議会対応費	埼玉りそな/東松山	5315773	151,000	301,000
合計				27,909,359

※50周年記念誌発行基金の口座は、記念誌発行に伴い今年度で、解約致しました。

特 別 会 計 収 支 計 算 書

2017～2018年度 国際ロータリー第2570地区

地区義援金特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	10,397,400	
雑収入	44	
合計	10,397,444	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
九州北部豪雨	117,092	義援金計200万
繰越金	10,280,352	
合計	10,397,444	

国際奉仕地区支援委員会特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前年度繰越金	7,442,310	
クラブからの支援金	3,495,210	
雑収入	57	
合計	10,937,577	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
今泉記念奨学会	800,000	
ミャンマー支援金	400,000	
タイ学校支援金	244,000	
フィリピン教育支援金	698,000	
ベトナム教育支援金	160,000	高等学校
タイ医療機器支援金	605,000	Global grants
送金手数料	1,728	
繰越金	8,028,849	
合計	10,937,577	

青少年活動費特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	1,042,840	
雑収入	5	
合計	1,042,845	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
繰越金	1,042,845	
合計	1,042,845	

VTT・GSE特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	3,251,721	
雑収入	14	
合計	3,251,735	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
繰越金	3,251,735	
合計	3,251,735	

危機管理委員会基金特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	5,004,557	
雑収入	21	
合計	5,004,578	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
繰越金	5,004,578	
合計	5,004,578	

50周年記念誌発行基金特別会計 (2018年8月8日解約)

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	4,011,258	
雑収入	17	
繰入金	200,000	
合計	4,211,275	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
記念誌発行費	4,211,275	
繰越金	0	
合計	4,211,275	

規定審議会对応費特別会計

収入 (単位: 円)

項目	金額	備考
前期繰越金	151,000	
繰入金	150,000	
合計	301,000	

支出 (単位: 円)

項目	金額	備考
繰越金	301,000	
合計	301,000	

2017～2018年度

地区会計報告

別紙のとおり報告いたします。

2018年8月20日

財務委員会委員長

茂木 聡

財務委員会委員

飯塚幸一

財務委員会会計

新井啓介

(監査報告)

私は、国際ロータリー細則第16条6節4項に基づき、国際ロータリー第2570地区
2017～2018年度の地区会計監査を行いました。

その結果は、適正なものと認めます。

2018年8月25日

財務委員会監査

真下和男

2017～2018年度

地区特別会計報告

別紙のとおり報告いたします。

2018年8月20日

財務委員会委員長

茂木 聡

財務委員会委員

飯塚幸一

財務委員会会計

新井啓介

(監査報告)

私は、国際ロータリー細則第16条6節4項に基づき、国際ロータリー第2570地区
2017～2018年度の地区特別会計監査を行いました。

その結果は、適正なものと認めます。

2018年8月25日

財務委員会監査

真下和男



RI 国際大会トロント参加報告

副幹事 橋本 恭一（行田さくら）

RID2570 から多くのメンバーが様々な日程で参加しました。本報告では細井ガバナー夫妻と共に参加したグループの報告をさせていただきます。

6月21日午前 RI 本部のあるエバンストンに近いシカゴをめざして羽田空港を出発。13 時間の時差にもめげずに 21 日早朝、エバンストンへ。RI 世界本部では日本人スタッフの時山さんの案内で RI 理事会会議室、RI 会長室、RI 会長エレクト室、デジグネート室、細井保雄夫妻のプレート設置予定のアーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリーそしてロータリークラブが発祥した部屋を復元した部屋などを見学しました。次はポール・ハリスのお墓参りです。お墓のある霊園は敷地が広く、よく手入れされ、各墓地が色とりどりの造花で飾られていました。霊園の門扉にはロータリークラブマークと共にライオンズクラブマークもあったのが印象的でした。シカゴへの帰路、ポール・ハリスが晩年を過ごした家も見学してきました。

翌 22 日は早朝、空路シカゴからトロントへ。CN タワーなどを見学の後、ハーバーフロントのホテルへ、湖だけど日本で言うとお台場？快適に過ごせました。23 日はナイアガラフォールズ観光。船で滝に突っ込んでいくような迫力、気がつくと船の先端にいるのは私一人、同行の仲間は皆船内見学、一人滝行をしてきました。

24 日はいよいよ国際大会式典、2570 地区メンバーも登録した時期により、午前と午後の部に分かれていました。私達は午前の部でした。各国、地域の旗の入場、美しくもダイナミックなパフォーマンスを楽しんだ後、各種報告そしてイアン・ライズリー会長の素晴らしいスピーチがありました。友愛の広場を各自自由に見学し、自由行動の後、各自ホテルに戻り、ガバナーズナイトの準備をしました。私たちはロジャーズセンターで食事をして、前日聞いた川越の岩堀さん情報の水族館を楽しみました。ノコギリザメに見とれて一人はぐれてしまった私は RI 大会会場からホテルまでのシャトルバス A で帰ってきました。

いよいよガバナーズナイトです。様々なルートから大会に参加した 2570 地区のメンバーらが一堂に会します。総勢 50 名のにぎやかなパーティーとなりました。

Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 特別号 vol.13

2018 年 9 月 20 日発行

月信問い合わせ先：行田さくらロータリークラブ

E-mail s-rotary@tv.g.ne.jp

TEL 048-564-3000



| 国際ロータリー 第 2570 地区 (埼玉西北部) |

Rotary International District 2570

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3 階

TEL 0493-21-2570 / FAX 0493-21-2571

<https://www.rid2570.gr.jp>